

2024年度(令和6年度)学校評価自己評価表

新市中央中学校区	校番38	福山市立新市小学校
最終更新日		2024年(令和6年)4月17日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校も中学校も元気大賞や文部科学大臣表彰を受賞するなど、良く頑張っている。目指すところも良くわかる。良くやってもらっている。 キャリア教育に様々な取り組み、子どもの生活の一部になったと思う。来年度に繋げて欲しい。 各校とも、目標を立てて、地域と1つになって取り組まれている素晴らしい。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校とも落ち着いた温かい雰囲気の中で、学び合ったり、教え合ったりする姿が多く見られている。 全国調査質問紙の主體的・対話的で深い学びに関する項目の肯定的評価は5校とも良好である。 体育委員会が企画・立案の体力づくりイベント等の実施により、「運動が好き」「進んで体力向上を図った」と答える子どもが増えている。 	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>チャレンジ&チェンジする力、自己理解力、自己表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の目標達成に向けた計画を立て、取り組む児童生徒。そして、その取組を定期的に振り返り、改善策を考える児童生徒。 自分の将来の夢や目標を持つ児童生徒。 自分の思いや考えを相手に分かりやすく説明する児童生徒。 <p>・地元事業者や地域の方と育成したい資質・能力を共有しながら、出前授業、探究学習、職場体験学習、面接など、様々な取り組みしていく。</p>
--	--	--	--

III 自校

<p>ミッション</p> <p>明日の新市を拓く「生きる力」の育成</p>	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	チャレンジ&チェンジする力	自己理解力	自己表現力
<p>学校教育目標</p> <p>進んで学び、やさしく、たくましい児童の育成</p>	めざす子ども像	低学年 自分のやりたいことに挑戦している。	自分のよさに気づく。	自分の思いを相手に伝えることができる。
<p>現状</p> <p><児童></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童意識調査「授業で考えることが面白い」の肯定的評価は、90%である。 文章を「読む」ことが課題である。 児童は、全体的に落ち着いて生活・学習することができており、教え合うこともできるが、相互による深め合い、話し合いの質の向上が課題である。 主體的・対話的で深い学びについては、主體的に児童相互で深め合い、課題の解決や探究することに課題がある。 自分の考えを、資料や文章、話の組み立て等を工夫して発表する力を高めていく必要がある。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> 聞いたことをもとに友だちの考えに理解・納得しながら、考えを深めようとする学びをつくるように取り組んでいる。 児童が相互に深め合う授業づくりに向け、言葉を大切に授業づくりを目指している。 課題の設定が、児童にとって自分事となるよう、児童の能動的な学習を促す授業づくりを行いたい。 地域・企業連携学習を通して学んだことを、自分の課題解決に生かし、学びを進めている。 	<p>中学年 困難なことにも挑戦し、最後までやりきることができる。</p> <p>高学年 活動を振り返り、改善策を考えることができる。</p>	<p>自分の得意なことや夢中になれることを見つける。</p> <p>自分の将来の夢や目標を持つ。</p>	<p>自分の思いや考えをまとめて表現することができる。</p> <p>自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明することができる。</p>	
	<p>研究</p> <p>テーマ 生活・経験等と学びをつなぎ、新たな知識・価値を生み出す学びづくり</p> <p>内容等 算数科、生活科、総合的な学習の時間を中心に生活・地域密着のカリキュラムを編成し、新しい知識・価値を創り出す学びづくりを進める。</p>	めざす授業の姿	<ul style="list-style-type: none"> 生活・地域等の状況から、課題を自分事として捉え、解決策を考える学び 児童の実態と教科等で何を学ぶかを踏まえ、単元の構成・課題設定・教師の役割などを問い直している学び。 各教科等のつながりをもとに、知識や経験等をつなぎ、新しい知識や価値を創り出す学び。 	

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立新市小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る取組状況	力〇評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期中期経営目標の達成状況	力〇評価	達成評価	総合評価	改善方策
1	子どもが学びに向かう力、学び続ける力、なりたい自分に向かう力を育成する。	★	継続	目標達成のための方法を考え、粘り強く取り組む子どもを育成する ＜チャレンジ＆チェンジする力＞	・生活・地域密着のカリキュラムを編成し、教職員が互いに授業を参観する機会を設定する。 ・教材研究を通して、学習指導要領や児童の状況に立ち返った授業をつくる。	・「子どもの学びや発達への理解をもとにカリキュラムを見直し、実践している」教職員80%以上 ・学力調査、単元テスト等の正答率40%未満の児童前年度以下 (R6 学テ 25.0%) ・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」児童80%以上 (R6 学テ 50.0%)									
				新規	自分や地域のよさや課題を知り、思いや考えを相手や場に応じて分かりやすく説明できる子どもを育成する。 ＜自己理解力＞ ＜自己表現力＞	・地域資源を活かした授業や行事等を通して、多様な人や考えに触れる場を設定する。 ・授業や行事等を通して、場や相手に応じた方法を選択し、表演活動に取り組む。	・「地域の人や課題などに児童が直接触れる機会を持っている」教職員85%以上 ・「自分の思いや考えを、相手や場に応じて分かりやすく説明している」児童80%以上								
				新規	児童一人一人が力を発揮できる多様な学びの場を充実する。	・個別に配慮を要する児童の指導計画を作成し、保護者・関係機関との共有及び改善に取り組む。 ・学校図書館運営協議会を月2回以上開催し、児童の利用状況に応じた運営改善に取り組む。	・不登校児童の出席率減少(2023 3.1%) ・個別の指導計画の作成及び家庭との共有100% ・「学校図書館を週1回以上利用している児童」前年度以上(2023 44.7%)								
4	教職員が元気・笑顔で勤務できる環境を充実する。	継続	教職員が実践力を高めるとともに、やりがいや充実感を持って教育活動を行う。	・教職員が授業を参観し合うチャレンジ授業を実施し、互いの良さや工夫を知る。 ・教職員が日頃から、教材研究、児童の学ぶ過程、支援の工夫などについて、対話する場を設定する。	・「教科の面白さを実感している」教職員85%以上 ・「授業づくりなど学校内の活動について、失敗を恐れずに挑戦することができている」教職員80%以上										

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。